

令和7年度第1回浜田市総合教育会議

日 時 令和7年5月9日（金） 16時から17時15分まで（予定）
場 所 浜田市役所3階庁議室
構成員 久保田市長 砂川副市長
岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員
事務局 草刈教育部長 藤井教育総務課長 山口学校教育課長
石橋学力向上推進室長

1 市長あいさつ

2 協議事項

(1) 教育行政に係る意見交換

ア 令和6年度の振り返りについて……………資料1

3 その他

令和7年度第1回浜田市総合教育会議名簿

1 構成員

職名	氏名	備考
市長	くぼた しょういち 久保田 章 市	
副市長	すながわ あきら 砂 川 明	
教育長	おかだ やすひろ 岡 田 泰 宏	
委員	すぎのもと ともゆき 杉野本 智 幸	教育長職務代理者
委員	おかやま れいこ 岡 山 令 子	
委員	くらもと いちぞう 倉 本 一 三	
委員	あさつ ふみ 浅 津 芙 美	

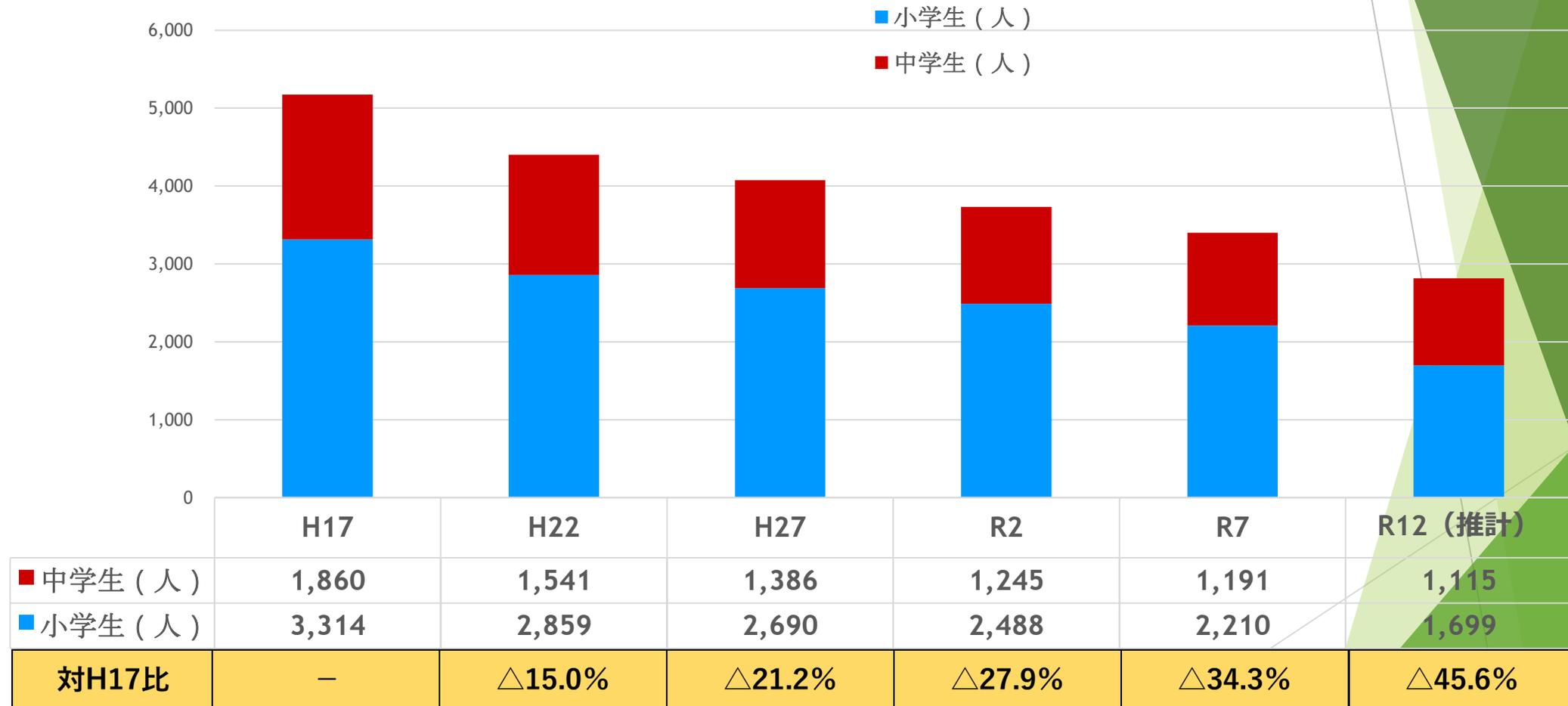
資料1

第1回浜田市総合教育会議資料

令和7年5月9日

浜田市教育委員会

浜田市の児童生徒数の推移（5年ごと・5月1日時点）



教科の平均正答率

(1) 小学校

※〈 〉内の数値は、前回調査における数値を表す

	平均正答率 (%)					
	浜田市	島根県	全国	差 (市-県) 〈昨年〉	差 (市-国) 〈昨年〉	差 (県-国) 〈昨年〉
国語	63.0	67.0	67.7	-4.0 〈-1.0〉	-4.7 〈-3.2〉	-0.7 〈-2.2〉
算数	58.0	61.0	63.4	-3.0 〈-1.0〉	-5.4 〈-4.5〉	-2.4 〈-3.5〉

県との差：前回調査より【国語-3.0】【算数-2.0】ポイント

国との差：前回調査より【国語-1.5】【算数-0.9】ポイント

教科の平均正答率

(2) 中学校

※〈 〉内の数値は、前回調査における数値を表す

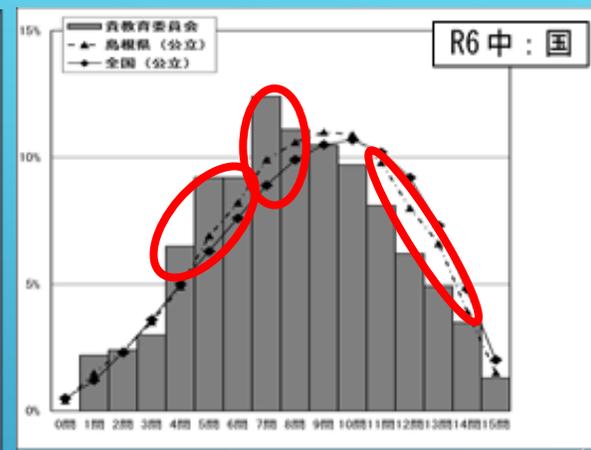
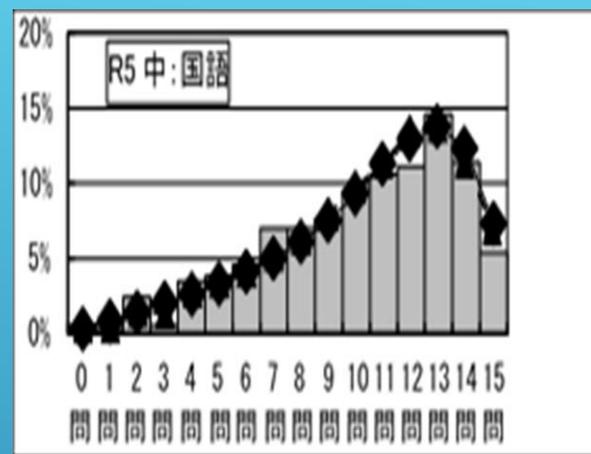
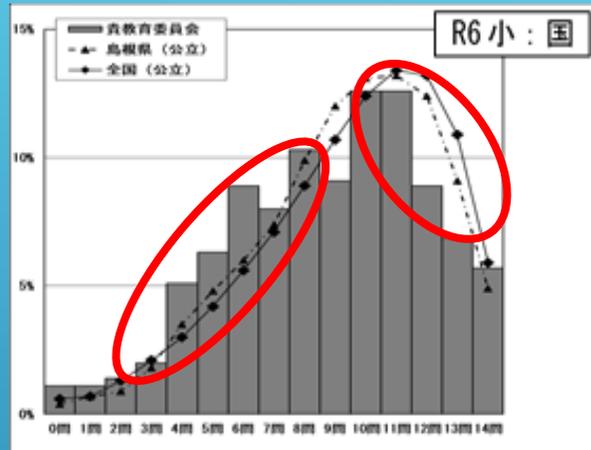
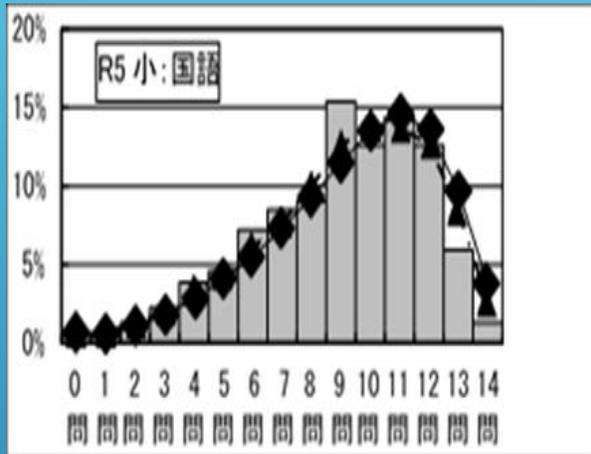
	平均正答率 (%)					
	浜田市	島根県	全国	差 (市-県) 〈昨年〉	差 (市-国) 〈昨年〉	差 (県-国) 〈昨年〉
国語	54.0	57.0	58.1	-3.0 〈-2.0〉	-4.1 〈-1.8〉	-1.1 〈+0.2〉
数学	45.0	49.0	52.5	-4.0 〈-1.0〉	-7.5 〈-4.0〉	-3.5 〈-3.0〉

県との差：前回調査より【国語-1.0】【数学-3.0】ポイント

国との差：前回調査より【国語-2.3】【数学-3.5】ポイント

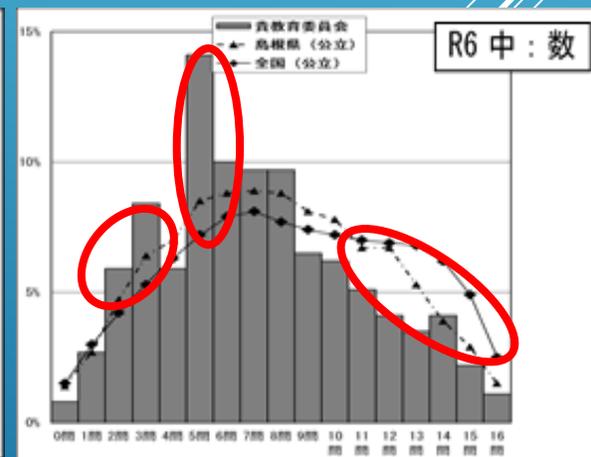
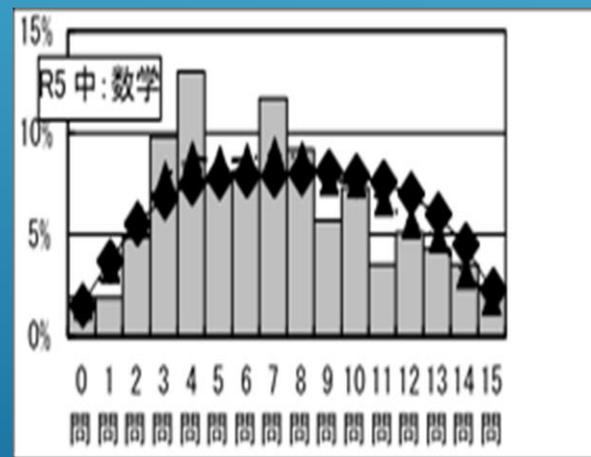
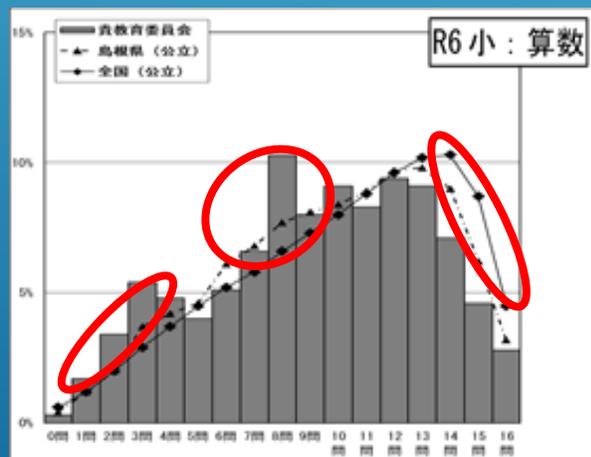
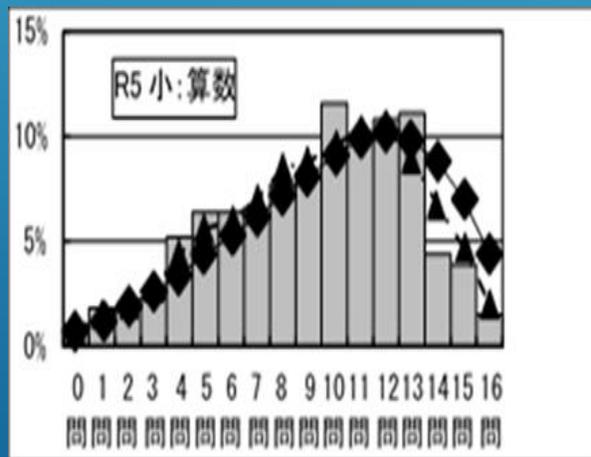
小学校国語

中学校国語



小学校算数

中学校数学



小中学校ともに全問正答者の割合は県とほぼ同程度。しかし、**高正答率層が少ないのは依然課題**。
低正答率から中正答率までの層に入る児童生徒の割合が増加。

「授業時間以外の学習」の状況

【児童生徒質問調査】

学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上、勉強をしていますか

家庭学習1時間以上 R6 小6 回答率状況



家庭学習1時間以上 R6 中3 回答率状況



家庭学習1時間以上 小6 浜田市 経年比較



家庭学習1時間以上 中3 浜田市 経年比較



文部科学省は、小中学校とも令和3年度以降減少傾向と結果報告に示している。浜田市は、【小中学校】ともに**全国・県を下回り**、経年比較では、【中学校】は**昨年度より若干改善**は認められるが、【小中学校】ともに**令和4年度以降下降**している。約半数の児童生徒しか1時間以上の授業時間以外の学習をしていないのは問題である。

【児童生徒質問調査】

○ 普段、1日当たり2時間以上テレビゲーム 及び SNSや動画視聴をしますか

普段1日2時間以上のゲーム R6 小学校 回答率状況



普段1日2時間以上のゲーム R6 中学校 回答率状況



普段1日2時間以上のゲーム 小学校 浜田市 経年比較



普段1日2時間以上のゲーム 中学校 浜田市 経年比較



2時間以上のSNSや動画視聴 小学校 浜田市 経年比較



2時間以上のSNSや動画視聴 中学校 浜田市 経年比較



文部科学省は、「3時間以上であるグループ（児童生徒の約30%）は、3時間未満のグループより勉強時間が短く、同じくらいに寝ていない傾向がある」と報告書で示している。

テレビゲームでは【小学校】は**全国・県**よりゲームをしている**割合が高い**。【中学校】は、**全国**よりも**高い**。経年比較では、【小中学校】ともに**令和4年度より若干改善**は認められる。

しかし、SNSや動画視聴の経年比較では**2時間以上の割合が増加**しており、**デジタルメディア接触**については**依然課題**である。

家庭学習時間と併せ、小中連携教育における各中学校ブロックでの取組を各学校で共通実践していく。

いじめの件数（各年度末時点）

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年前との対比 (B-A)/(A)
小学校	246	224	297	269	283	15.0%
中学校	73	114	93	118	153	109.6%
合計	319	338	390	387	436	36.7%

- 「いじめゼロ」を目指す → 「いじめ見逃しゼロ」を目指す
(客観的な見立てではなく、自らそう感じたものはいじめと捉える)

小中学校の不登校者数

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年増減率 (B-A)/(A)
小学校 (割合)	33 (1.3%)	39 (1.6%)	50 (2.1%)	46 (2.0%)	75 (3.3%)	127.3%
中学校 (割合)	46 (3.7%)	71 (5.8%)	77 (6.3%)	81 (6.6%)	98 (8.0%)	113.0%
合計 (割合)	79 (2.1%)	110 (3.0%)	127 (3.5%)	127 (3.6%)	173 (5.0%)	119.0%

特別な支援を必要とする児童生徒の状況

【特別支援学級の児童生徒数（各5月1日時点）】

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年増減率 (B-A)/(A)
小学校	95	107	117	108	123	29.5%
中学校	43	51	47	59	48	11.6%
合計	138	158	164	167	171	23.9%

【通常学級在籍の特別な支援が必要な児童生徒数】

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年増減率 (B-A)/(A)
小学校 (割合)	314 (13.1%)	275 (11.8%)	316 (13.8%)	312 (13.3%)	326 (15.1%)	3.8%
中学校 (割合)	117 (9.7%)	105 (8.9%)	74 (6.3%)	78 (6.4%)	79 (6.7%)	△32.5%
合計 (割合)	431 (12.0%)	380 (10.8%)	390 (11.3%)	390 (10.9%)	405 (12.1%)	△6.0%

【上記の合計】

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年増減率 (B-A)/(A)
小学校	409	382	433	420	449	9.8%
中学校	160	156	121	137	127	△20.6%
合計	569	538	554	557	576	1.2%

通級指導教室の利用者数（各年度末時点）

(人)

年度	R2 (A)	R3	R4	R5	R6 (B)	4年増減率 (B-A)/(A)
小学校 (割合)	110 (4.4%)	103 (4.2%)	108 (4.5%)	110 (4.7%)	92 (4.3%)	△16.4%
中学校 (割合)	47 (3.8%)	47 (3.8%)	44 (3.6%)	37 (3.0%)	47 (4.0%)	0.0%
合計 (割合)	157 (4.2%)	150 (4.1%)	152 (4.2%)	147 (4.1%)	139 (4.2%)	△11.5%

学校支援員配置状況

(千円)

年度	R3決算 (A)	R4決算	R5決算	R6予算	R7予算 (B)	4年の増減率 (B-A)/(A)
事業費	40,750	42,605	43,576	42,314	47,311	16.1%
うちコロナ交付金	11,788	6,398	4,167	3,150	3,517	
実質（市費）	28,962	36,207	39,409	39,164	43,794	51.2%

教職員の平均時間外勤務時間 (目標：45時間/月以内)

【令和6年度（管理職は除く）】

小学校 34時間/月 (前年比1時間)

中学校 44時間/月 (前年比△2時間)

※厚生労働省が示した健康障害リスクが高まる過労死ライン

「月100時間を超える」または「2～6か月間にわたり月80時間を超える」時間外労働